

令和 8 年度 スクーリング シラバス

スクーリング 科目コード		科 目 名 (単位数)				履修方法
7200		保育児童専門演習 (2 単位)				SR
講義概要	科目区分			必修・選択		必修・選択
保育所・幼稚園などの実践例を通して、問題の所在を発達の観点のもとで明らかにすることによって、子ども理解を深めることを学修の目的とする。 また、幼児文化教材の理論と実践とを具体的に学びながら、保育方法論の確立をめざす。						
担 当 教 員 名						
大塚 絹子						

会 場	日本こども福祉門学校
-----	------------

学 習 目 標	① 保育・幼児教育の現場における年齢に応じた子どもの特徴的な姿を捉えることができる。 ② 年齢に即した子どもとの関わり方（生活や遊びを通した子どもの学び）について考えることができる。 ③ 幼児文化教材の理論と実践とを具体的に学び、理解を深める。
------------------	---

指定教科書以外の教材
必要と思われる資料をその都度配布する予定です。

学生へのメッセージ

授業では、子どもの遊びの変化と現状を踏まえ、保育教材の必要性について学びます。保育者が保育教材を活用する効果や子どもが保育教材を活用する効果について、実践を通して考察します。子どもの発達や子どもの姿をイメージしながら製作、実践して欲しいと思います。

スクーリング修了試験設題

子どもの遊びの変化と幼児文化教材を活用する意義について述べよ。

評価・採点基準

スクーリング修了試験＋授業態度を総合的に判断して評価します。

- ① スクーリング修了試験：50%
- ② 授業中のグループワークなど授業への参加状況：50%

講義日程	授 業 内 容
1 回	保育教材の必要性について
2 回	保育教材の製作①
3 回	保育教材の製作②
4 回	保育教材の実践
5 回	保育教材の効果について
6 回	保育教材の種類と特徴①
7 回	保育教材の種類と特徴②
8 回	保育教材の実践力・表現力を磨く①
9 回	保育教材の実践力・表現力を磨く②
10 回	保育児童専門演習についてのまとめ
11 回	スクーリング修了試験

令和 8 年度 スクーリング シラバス

スクーリング 科目コード		科 目 名 (単位数)				履修方法
7101		保育内容（言葉）（2 単位）				SR
講義概要	科目区分			必修・選択	必修	必修・選択
子どもの言語発達の過程や言語環境について学び、児童文化財（絵本、紙芝居、パネルシアター、エプロンシアターなど）を活用した言語表現活動を行えるような知識と実践力を身に付けていく。						
担 当 教 員 名						
平澤 久美子						

会 場	日本こども福祉専門学校
-----	-------------

学 習 目 標	◎理論面 言葉の発達を年齢と共に理解をし、それぞれの年齢に応じた保育者の対応の在り方を学ぶ。 ◎実践面 自分の作成した児童文化財を実践することによって、実習や現場での活用方法を体感する。
------------------	---

指定教科書以外の教材

「幼稚園教育要領」 文部科学省 教育出版

「保育所保育指針」 厚生労働省 フレーベル館

「保育と絵本」 瀧 薫 著 エイデル研究所

学生へのメッセージ

「言葉」は人としてコミュニケーションを図る上で必要不可欠なものです。そのうえでより豊かな言語表現を行えるような環境づくりが必要となってきます。その一つが児童文化財なのではないかと考えられます。

この科目では、一人ひとりが自分の個性を発揮しながら、表現豊かに児童文化財を使いこなせるようにしていきたいと思います。

※ 遅刻・早退、授業中の居眠り、私語、携帯電話の使用その他、授業に臨む上で不適切な態度が見受けられた場合は、厳格に対処します。

スクーリング修了試験設題

児童文化財が言語発達にどのように関わっているのか、また演じる上で大切なことを述べなさい。

(1000字から1200字程度)

評価・採点基準

1. 児童文化財の制作と実践・・・・・・50点

2. スクーリング修了試験・・・・・・50点

総合点 100点

講義日程	授 業 内 容
1 回	保育内容「言葉」とは ～保育所保育指針 幼稚園教育要領から考える
2 回	子どもの言葉の発達 ～子どもはどのように言葉を獲得し、どのように発するようになるのか
3 回	言葉の発達と絵本 ～それぞれの年齢にふさわしい絵本とは
4 回	児童文化財の制作① ～ストーリーを考える 図案化する
5 回	児童文化財の制作② ～下絵
6 回	児童文化財の制作③ ～色塗り①
7 回	児童文化財の制作④ ～色塗り②
8 回	児童文化財の制作⑤ ～完成・練習
9 回	実演発表① ～評価と反省
1 0 回	実演発表② ～評価と反省
1 1 回	スクーリング修了試験

令和 8 年度 スクーリング シラバス

スクーリング 科目コード		科 目 名 (単位数)				履修方法
7391		保育内容総論 (2 単位)				SR
講義概要	科目区分		こども学科	必修・選択		必修 ・選択
保育内容を幼児の生活そのものにとらえ、それらを構成しているさまざまな事象を、理論面、実践面の両面から学んでいく。 「生活」「遊び」「活動」をキーワードに、保育内容を捉えていく。 「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」の 5 領域について理解し、総合的な指導のあり方を導き出す。						
担 当 教 員 名						
大塚 絹子						

会 場	日本こども福祉専門学校
-----	-------------

学 習 目 標	〈理論面〉 保育の総合性と幼児の主体性と保育者の意図性からなる保育活動のあり方について理解を深める。 活動に含まれる 5 領域のあり方、相互性を理解する 〈実践面〉 指導計画の作成、模擬保育実践の体験を通して、学生自らの主体的態度を育み、保育者として必要な保育実践を身に付ける。
------------------	--

指定教科書以外の教材

「幼稚園教育要領」	文部科学省	教育出版
「保育所保育指針」	厚生労働省	フレーベル館

学生へのメッセージ

子どもはいつでもどこでも、遊んでいます。子どもの日常的生活世界はこうした遊びによって形成されており、遊びの中に保育的な価値が多く隠されているのです。

この科目では子どもの活動は遊びであり、遊びの生活そのものであることを理解し、活動を総合的に5領域からとらえる保育的意義について考えていきましょう。

そして、実際の保育の場面を想定して模擬保育に取り組み、学生一人ひとりの保育実践力を高めていきましょう。

※遅刻・早退、授業中の居眠り、私語、携帯電話の使用その他、授業に臨む上で不適切な態度が見受けられた場合は、厳格に対処します。

スクーリング修了試験設題

『「子どもの生活はすべて遊びである」といわれる理由について述べなさい』
(1000字～1200字程度)

評価・採点基準

1. 指導計画と模擬保育の実践・・・50点

2. スクーリング修了試験・・・50点

総合点 100点

※注意：授業は全部出席してください。遅刻・早退は1回につき
10点の減点となります。

講義日程	授 業 内 容
1 回	幼稚園教育要領のねらいと内容 保育所保育指針のねらいと内容
2 回	5 領域と保育内容を捉える視点について
3 回	発達のとらえ方と保育内容 ー保育内容をとらえる視点についてー
4 回	保育内容における遊びの意義 ー生活と遊びの関係についてー
5 回	保育者の意図性と子どもの主体性とは 保育の総合性とは
6 回	幼稚園、保育園における保育の一日と内容 ー1日の生活の流れと保育の考え方ー
7 回	道徳性の芽生えの指導について 情報化社会と保育内容の展開と工夫について
8 回	模擬保育① ー各自で指導案を作成してー
9 回	模擬保育② ー各自で指導案を作成してー
1 0 回	模擬保育の評価と反省
1 1 回	スクーリング修了試験